

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

玉野市立荘内中学校（岡山県）

## 【取組内容①】 PBL推進の中でMeet配信も活用しながら探究的な学びを広げ深める取組

## カテゴリー

「探求学習の成果報告」(2・3年生合同のこみゅトレ実施)

活用概要

2年生が総合的な学習の時間で行った「福祉探求学習」の学習成果物である個人のプレゼンテーションを3年生に発表し、評価をフィードバックしてもらいました。

使用アプリ等 Meet Googleスライド 学習支援ソフト

## 【活用目標や工夫点、活用の流れや生徒の様子】

● 探究学習でのプレゼンテーション等のアウトプット活動は非常に大切であり、クラスや学年単位でのグループでの発表形態もありますが、小グループで順番に発表していくことで全員がプレゼン経験を積むことができます。また、3年生等の異学年に聞かせ、評価をフィードバックしてもらうことで、次へのステップになるものと考えています。

● こうした活動の企画運営も生徒の実行委員会に任せ、全体司会が8クラスにMeet放送で指示を出していくようにしています。

● 2年生は自分の責任を果たしながら良いプレゼンができていました。3年生も適切な評価ができていた生徒もいました。

● もう少し、質問する力が身に着けていけば、さらに良い取組となるのではないかと考えられます。

